

議員 競艇事業収益金に関する調べと、予算措置の考え方は。

総務部長 競艇事業配分金については、教育文化の発展、医療の普及や住民の福祉の増進を図るために必要な経費の財源に充ててまいります。

また、予算措置については、戸田競艇組合の15年度の配分計画を確認して、予算措置をまいります。

住民型ミニ公募債は

議員 住民型ミニ公募債についての、本市における検討経過は。

永沼 逸郎 議員

競艇事業収益金(配分金)は

議員 来年は固定資産税の評価替えに当たるが、税収への見通しは。

固定資産税の見通しは

議員 来年は固定資産税の評価替えに当たるが、税収への見通しは。



▲戸田競艇場

市民生活部長 来年度は、3年に一度の土地、家屋の評価替えの年に当たります。土地については、対前年同期比較で4・3%程度の下落を見ており、これにより、土地の評価額に対する課税標準額の割合で、ある負担水準割合が上昇し、税負担を据え置く土地がほとんどとなり、税収減となります。

一方、宅地化の進展に伴い、工場・倉庫跡地や駐車場・農地が住宅用地に換わり、減収の要因につながる傾向にあると思われま。

家屋については、在来家屋は多少下落すると考えていますが、大規模な建設もあり、全体として減少幅は少ないと見込んでいます。

償却資産については、新規に大規模な設備投資があり、多少の増が見込めると予想しています。

全体としては、当初予算の1・2%の増を予定しています。

荒川処理センター 上部利用の今後は

平野 進 議員

の覆蓋整備から利用整備までが完了するには相当の期間を要し、第8系列の整備後、上部利用空間の部分整備を進めるよう県に働きかけ、最終的に第7系列の利用整備までの期間は、暫定的な利用が出来るように、市民の皆様のご要望にお応えしていく考えです。

さらに、国・県の理解と支援を最大限受けられるように、積極的に働きかけをいたします。

周辺対策について

議員 ①河川浄化対策について。

②治道の整備について。



▲上部利用については、市民の声を最大限に尊重

また、外郭環状線幸魂大橋までは、処理場の上部利用の整備状況とも整合を図り、それ以上については荒川上流工事事務所と協議を行い、野竹橋と天王橋間の既存遊歩道を彩湖・道満グリーンパークまでリンクさせるよう検討します。子ども達の遊び場の確保も併せ、計画の中で検討します。

議員 公明党は、市内道路危険箇所の総点検活動を実施した。

- ①カーブミラー設置18カ所
②歩道拡幅改修 11カ所
③道路整備 5カ所
④道路照明灯設置 9カ所
⑤公園整備 3カ所
⑥信号機設置・改修7カ所
⑦駐車問題(指導・改善) 8カ所

青木 宏之 議員

道路危険箇所総点検で 82カ所を指摘

議員 来年早々に、第2回目総点検を行う予定にしているの、その節はよろしくお願ひしたい。



▲安全で快適な道路に

特に地域での利用者の視点に立つての総点検ということであり、この資料をもとに、ご指摘の82項目につきまして、現地を確認・調査いたしまして、緊急度の高いところから順次対処してまいりたいと思ひます。

市民生活部長 今後、ご指摘のあった所につきまして、は、現地を確認するなどし、また、関係機関とともに協議をしながら、取り組みにつきまして推進してまいりたいと考えております。

議員 来年早々に、第2回目総点検を行う予定にしているの、その節はよろしくお願ひしたい。

このたび、党を挙げて、

震災に強い人づくり、地域づくりを

平野 泰雄 議員

議員 「自助」、「共助」を進めていくために、市はどのように考えているか。

また、事業所と自主防災会との連携についてはどうか。

議員 阪神大震災から8年。このほど制定された埼玉県震災予防のまちづくり条例を受け、市はどのように対応しようとしているのか。

議員 阪神大震災から8年。このほど制定された埼玉県震災予防のまちづくり条例を受け、市はどのように対応しようとしているのか。

また、災害発生時に、まず活動するのは住民の方々であり、「自助」、「共助」の意義を高めていくことを重点に、意識啓発、自主防災組織の充実に努めます。



▲日頃から、一人ひとりが防災意識を

議員 河川法適用の河川に格上げし、新たな名称を付けることについてどう考えるか。

荒川左岸排水路について

議員 河川法適用の河川に格上げし、新たな名称を付けることについてどう考えるか。

議員 河川法適用の河川に格上げし、新たな名称を付けることについてどう考えるか。

議員 河川法適用の河川に格上げし、新たな名称を付けることについてどう考えるか。